



教職員研修の概要や調査研究の成果など
総合教育センターの取組と様々な教育情報を
発信しています。
ぜひ教職員の皆さまも
フォローをお願いします。



県教委だより

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

No. 716

令和2年(2020年)6月5日発行

教育長就任に当たって

埼玉県教育委員会教育長

高田直芳



このたび4月1日付けで教育長に就任いたしました高田直芳です。昭和57年に県立大宮工業高校に着任以来、定年を迎えるまでの間で、高校教諭として16年間、教育局職員として12年間、教頭・校長として9年間、埼玉教育に携わってまいりました。こうした経験を生かし、本県教育のさらなる充実に向けて精一杯取り組んでまいります。

私たちを取り巻く環境は日々刻々と変化を続けており、その変化は速度を増すばかりです。例えば、2007年に登場したスマートフォンは、今や中高生を含めほとんどの人が手にするアイテムになりました。いつでもどこでも世界中の膨大な情報を瞬時に得られるようになり、インターネットを通じてキャッシュレスで買い物もできるようになりました。人工知能の急速な進化により私たちの生活はさらに大きく変化していくことでしょう。これから先の10年で社会は一体どのような変容を見せるのか、確かなことは誰にも言えないのではないのでしょうか。

このような時代において、教育に課せられた使命とは、先行き不透明な時代をたくましく、そして、心豊かに生きていける子供たちを育てていくことだと私は考えています。そのために、子供たち一人一人が基礎基本をしっかり身に付けた上で、自己肯定感を持ち、勇気をもって未知の世界へ一歩を踏み出せるような力を、学校教育の中で育てていきたいと思います。

さて、今年度は「第3期埼玉県教育振興基本計画」が2年目を迎えます。「豊かな学びで未来を拓く埼玉

教育」の基本理念のもと、市町村、学校、家庭、地域、大学・企業などと連携し、成果を見据えて着実に推進してまいります。また、新学習指導要領が今年度の小学生から順次全面実施され、本格的に新しい時代の教育が幕を開けます。この新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善が強く求められています。自ら課題を設定し、正解が1つではない問いと真摯に向き合い、他者との学び合いを通して探究を続ける。こうした学びを重ねることで、変化の激しい社会を生き抜く力を備えた子供たちの育成に努めてまいります。

解決を急がねばならない課題もあります。1つは「学校における働き方改革の推進」、もう1つは「不祥事根絶」です。子供たちが生き生きと安心して学校生活を送るためには、まず何より教職員自身が心身ともに健康であることが不可欠です。その意味からも、この2つの課題についてはあらゆる方策を尽くして全力をあげて取り組んでまいります。

未来を担う子供たちの指導に直接携わる教職員の責任と負担は、大変重いものがあります。しかし一方で、教職の仕事でしか味わうことのできない感動や喜びがあることもまた事実です。無限の可能性を持つ子供たちを教育するという教職の仕事に、どうか誇りと気概を持って取り組んでいただきたいと存じます。私自身も埼玉教育の充実・発展に誠心誠意尽くしてまいります。皆様の御協力をお願いいたします。

「埼玉県教職員等消費生活セミナー」

参加者募集

成年年齢引下げに備え、より良い生活を送るためには高校生のうちから正しい知識を持ち理解することが必要です。また、学校では学習指導要領に基づき、適切に消費者教育を行うことが求められています。

本セミナーは、最新情報の提供を中心に授業展開例の紹介や演習を企画しています。積極的に参加していただき、授業づくりのヒントを見付けてください。定員は30名、会場は、石坂産業株式会社(最寄り駅ふじみの駅)です。

埼玉県消費生活支援センターでは、この他にも教職員向け消費者教育セミナーの開催を予定しております。

開催日・時間	テーマ(内容)
8月6日(火) 10:00～16:30	10:00～12:00 ①実践!消費者アクションゲームⅡ ～新学習指導要領に対応した消費者教育を検討しよう～ 13:00～16:30 ②“持続可能な社会”を作る「石坂産業」の取組を見学 ～まち・ひと・自然を守る工夫を見てみよう～

●**申込方法** 令和2年5月25日(月)から電話、ファクシミリ又は電子メールで受け付けます。

●**申込先** 埼玉県消費生活支援センター 情報・学習支援担当
TEL:048-261-0995 FAX:048-261-0962
E-mail:m4308776@pref.saitama.lg.jp

●**その他** 無料です。

※非常事態宣言の延長等やむを得ない場合は、中止または延期の可能性がありますので、御了承ください。



セミナーの様子

性の多様性の尊重に向けて

(人権教育課)

「性の多様性の尊重に係るポスター」を作成し、県内(さいたま市を除く)の公立小・中・義務教育学校及び公立高等学校・特別支援学校へ配布しました。校内への掲出を通じて、全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通える学校の環境づくりを推進します。

《こころの性》×《からだの性》×《好きになる性》×《表現する性》＝セクシュアリティ



性の多様性の尊重に係るポスター

<このポスターのねらい>

○**全てのセクシュアリティの尊重**

全児童生徒を対象に、性のあり方は多様であり、全てのセクシュアリティがともに尊重されるべきものであることを伝えます。正確な知識に基づくコミュニケーションの契機とし、偏見や差別の防止を図ります。

○**児童生徒が相談しやすい環境づくり**

全てのセクシュアリティの児童生徒にとって、学校は安全な場所であることを伝えます。教職員が児童生徒の悩みや不安を聞き、ともに考える姿勢を伝えて、児童生徒が相談しやすい環境を整えます。

教職員は、悩みや不安を抱える児童生徒の良き理解者となるよう努め、個別の事案に応じ、児童生徒の心情等に配慮した対応を行うことが求められています。(平成27年4月30日付「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」文部科学省通知)

埼玉県 性的マイノリティ 関連資料

検索

【問合せ】企画・児童虐待対応支援担当 (電話:048-830-6786)

教員免許更新制について

御注意ください!

公立学校教員は、免許更新の手続を行わないまま、
免許状の有効期限が経過すると、**失職**してしまいます。

<有効期限の確認方法>

- 「**所有免許状確認票**」をお持ちの方(※昨年度の所有免許状調査対象者)

確認票に有効期限、申請等期間が記載されています。

※調査後に延期等の申請を行っていると、延期後の期限が反映されていない場合があります。

- 「**所有免許状確認票**」をお持ちでない方

⇒ 過去に更新、延期を行ったことがある方(新免許状所持者、旧免許状所持者共通)

- ・ 交付された更新・延期証明書等に記載の次回の「有効期間の満了の日」又は「修了確認期限」を確認

⇒ 一度も更新、延期を行っていない方(新免許状所持者)

- ・ 「新免許状所持者」の方は、免許状に記載されている「有効期間の満了の日」(複数の免許状を所持している場合、最も遅い日付が適用されます。)を確認

有効期限を確認したら、有効期限の2か月前までに県教育委員会へ申請を!

- 有効期限が令和3年3月31日の方 → 令和3年1月末まで
- 延期申請等をしたことにより有効期限が年度末でない方 → 期限の2か月前まで

【問合せ】教職員採用課 総務・免許担当(電話:048-830-6674)

教職員採用課のホームページ

埼玉県 教員免許

検索 

令和2年度教科書展示会の開催について

埼玉県教育委員会では、教科書の発行に関する臨時措置法第5条に基づき、令和2年度における教科書展示会を下記のとおり開催します。この展示会は、教職員の教科書研究のほか、県民の方々に教科書に対する理解を深めていただくことを目的として行うものです。

1 期間 6月12日(金)から

※開催日時は会場によって異なります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場により中止・延期することもあります。詳しくは、義務教育指導課ホームページで御確認ください。

2 会場

【小・中・高・特別支援学校用教科書の展示】

- ① 県立総合教育センター
- ② さいたま市立中央図書館
- ③ 川越市立教育センター

【小・中・高等学校用教科書の展示】

- ④ さいたま市立教育研究所
- ⑤ さいたま市立大宮小学校
- ⑥ 飯能市立飯能第一小学校
- ⑦ 秩父市歴史文化伝承館
- ⑧ 熊谷市立熊谷西小学校
- ⑨ 春日部市立春日部中学校

【小・中学校用教科書の展示】

- ⑩ 川口市立教育研究所
- ⑪ 草加市立中央公民館
- ⑫ 戸田市立教育センター
- ⑬ 朝霞市コミュニティセンター
- ⑭ 志木市総合福祉センター
- ⑮ 北本市立西中学校
- ⑯ 上尾市コミュニティセンター
- ⑰ 三芳町役場
- ⑱ 坂戸市立教育センター
- ⑲ 所沢市立教育センター


- ⑳ 東松山市立松山第一小学校
- ㉑ 本庄市立図書館
- ㉒ 深谷市立教育研究所
- ㉓ 羽生市立羽生北小学校
- ㉔ 菖蒲総合支所
- ㉕ 宮代町立笠原小学校
- ㉖ 越谷市教育センター
- ㉗ 三郷市立瑞沼市民センター

3 問合せ

義務教育指導課教科書担当(電話:048-830-6746)

義務教育指導課ホームページ

教科書展示会 埼玉 令和2年度

検索 



令和2年度 埼玉県教育行政重点施策

埼玉県教育委員会では、「第3期埼玉県教育振興基本計画」で掲げた5年間で取り組むべき5項目の課題に対応するため、各年度における「重点的な取組」を定めた「令和2年度埼玉県教育行政重点施策」を策定しました。

関係部局や市町村・家庭・地域などと連携しながら、それぞれの教育力を結集し、本県教育の振興・充実に努めます。

◆ 社会の激しい変化に対応するための資質・能力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。
- ・科学・技術・工学・数学等を横断的に学ぶSTEM教育を推進し、世界で活躍する科学技術人材の育成を図ります。



主体的・対話的で深い学びの推進（小学校）

関連する主な事業

- AIを活用した学びの実践研究事業
- 世界をリードする科学技術人材育成事業（新規）
- 「教育の情報化」基盤整備費（一部新規）



主体的・対話的で深い学びの推進（高校）

◆ 子供たちの社会的自立

- ・産業界や関係機関と連携・協力して実践的な職業教育を行い、地域産業を担っていく人材を育成します。
- ・特別支援学校高等部の企業就労を希望する全ての生徒の進路実現のため、就労支援を充実させます。

関連する主な事業

- 職業人材を育成する専門高校活性化事業（新規）
- 高校生の「農力」育成強化プロジェクト
- 自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業

◆ 多様なニーズに対応した教育機会の提供

- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒をはじめ、学校生活に課題を抱える児童生徒に対する支援体制を整備します。
- ・子供の力を最大限に引き出す学びを実現するため、障害特性に応じたICT機器を整備し、学習環境の充実を図ります。

関連する主な事業

- 課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン
- いじめ・不登校対策相談事業
- 障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業（新規）

◆ 学校・家庭・地域との連携・協働による教育力の向上

- ・外国籍の児童や保護者への支援と地域住民とのつながりづくりに向けた取組を進めます。
- ・地域の人的・物的資源を活用した実社会からの学びを充実させ、学校の力を地域で生かす取組を行います。

関連する主な事業

- 「外国人親子への支援と地域住民とのつながりづくり」モデル事業（新規）
- 学校と地域の未来を創ろう！プロジェクト



子ども和紙大学おがわ・ひがしちちぶ「和紙漉き」

◆ 人生100年時代を見据えた生涯学習・スポーツの推進

- ・大学やNPO、青年会議所、市町村などが連携して実施する子ども大学の継続・発展を支援し、その成果を各市町村に広め、生涯学習を担う人材の育成につなげます。
- ・埼玉の歴史や文化への関心を高め、適切な県内文化財の保存・活用を図ります。

関連する主な事業

- 生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト
- 史跡埼玉古墳群保存活用事業

「埼玉県教育行政重点施策」の詳しい内容は埼玉県ホームページをご覧ください。

埼玉県教育行政重点施策

検索 

県内の文化財情報の発信について

(文化資源課)

県内文化財や博物館・美術館の情報発信の取り組みについてご紹介します。

101 匹の埼玉狛犬

県文化資源課では昨年度、県内の身近な文化財に目を向けてもらうため、寺社の境内等に置かれた「狛犬」の写真をInstagramで募集し、人気投票を行う企画「#101 匹の埼玉狛犬」を実施しました。

この企画に関連し、県立川越工業高校の機械科とデザイン科の生徒の協力により、オリジナル狛犬グッズを制作し、企画の応募者プレゼントとしました。また、県立熊谷女子高校の日本史部と県立松山女子高校の歴史研究部の生徒には、地元にある狛犬を取材・調査してもらい、その結果を文化資源課 Facebook ページで発信しました。将来の文化財の保存継承を担う高校生たちが、授業や部活動を通して文化財に触れ合う機会となりました。

今年度は「巨樹」をテーマに、同様の企画を実施する予定です。どうぞご期待ください。



川越工業高校・機械科の生徒が制作したミニチュア狛犬



松山女子高校・歴史研究部の調査の様子



Instagram QR コード

埼玉県版「#おうちでミュージアム」

新型コロナウイルスの影響により2月29日から県立の博物館・美術館は休館となっています(令和2年5月18日現在)。同期間中に実施を予定していた、企画展や特別展等の様子を職員お手製の動画で配信しています。動画は県立各館のHPやSNSの他、県文化資源課のTwitterとFacebookで順次公開をしています。ぜひ、ご覧下さい。



Facebook QR コード



Twitter QR コード

【問合せ】文化資源課 文化財活用担当 (電話:048-830-6986)

県議会2月定例会(代表質問・一般質問)における教育委員会関係答弁(会期2月20日～3月27日)

日付	質問者名(会派)・質問項目(答弁者)
2月26日 (水) 代表質問	岡重夫議員(県民) ○教職員のわいせつ・セクハラ行為根絶に向けた取組について ○高等学校防災拠点施設について(知事・教育長)
2月27日 (木) 代表質問	田並尚明議員(民主フォーラム) ○教育局における不祥事について ○教育内容について
	西山淳次議員(公明) ○教育の充実について ・コミュニティ・スクールの推進 ・読書教育の充実
2月28日 (金) 一般質問	須賀敬史議員(自民) ○ネット依存・ゲーム障害の対策について ○教育局の障害者雇用と教員のわいせつ行為について ○スポーツ歯学を取り入れた競技力向上とマウスガードの普及について ○外国人との共生のために
	平松大佑議員(県民) ○EdTech推進について ・EdTech推進方針の策定について ・県内市町村の小学校・中学校、県立学校の校内ネットワークの整備について ・県内市町村の小学校・中学校の端末整備計画について ・県立学校での端末の整備について
	町田皇介議員(民主フォーラム) ○学校における働き方改革を実現するための方策について

日付	質問者名(会派)・質問項目(答弁者)
3月2日 (月) 一般質問	安藤友貴議員(公明) ○避難所生活の被災者のために ・避難所となる体育館屋根の改修について ○手話言語条例制定後の取組について ～聴覚障がい者のために～ ・子供の教育相談窓口について ・ろう学園教員の手話能力の向上はどうなったのか
	村岡正嗣議員(共産党) ○肢体不自由児の負担軽減と川口に特別支援学校を(知事・教育長) ○文化・芸術活動の持つ力と障害者アートについて
3月3日 (火) 一般質問	木下博信議員(自民) ○県教育長としての仕事 ・埼玉県の児童一人当たりの教育費について ・教員定数を増やすことについて(知事・教育長) ・労働法制の学習の必要性について
	諸井真英議員(自民) ○新型コロナウイルス対策に伴う小学校、中学校、高等学校の休校への対応について(知事) ○教育長は埼玉県に何を残すのか ○県立高校の再編整備について ・再編の進め方について ・農業科について ・定時制高校について

※答弁者が空欄の場合は、教育長が答弁者です。

県議会答弁は
こちらから

埼玉県議会定例会概要

検索

県立博物館等の情報

施設名(所在地)	展示・イベント情報など	展示・募集期間など	問合せ
歴史と民俗の博物館(さいたま市)	美術展示「みほとけの世界」	展示期間等はホームページでご確認ください。	048-645-8171 展示担当
さきたま史跡の博物館(行田市)	テーマ展「埼玉の中・近世～発掘された道沿いの風景～」		048-559-1181 資料・展示担当
嵐山史跡の博物館(嵐山町)	スポット展示「中世のくらし」		0493-62-5896 学芸担当
近代美術館(さいたま市)	企画展「New Photographic Objects 写真と映像の物質性」		048-824-0111 広報担当
自然の博物館(長瀬町)	企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」		0494-66-0407 自然担当
川の博物館(寄居町)	特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」		048-581-7333 川の博物館
文書館(さいたま市)	企画展「生活に役立つ地図～マイホーム・防災・子育て・レジャーにも～」		048-865-0112 地図担当
さいたま文学館(桶川市)	収蔵品展「俳画コレクションー岡本癖三酔作品展」		048-789-1515 さいたま文学館

※県立博物館等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月15日現在全館が休館しています。



県立学校学習・文化施設地域開放事業

～県立学校の音楽ホールなどを利用してみませんか～

県立学校では、県民の主体的な学習活動を支援するため、土日を中心に学習・文化施設(音楽ホール、図書館、多目的室など)を開放しています。

クラシック仕様の本格的な音楽ホールや木の香りに包まれた図書館など、学習活動に最適な環境を整えて皆様の利用をお待ちしています。

●開放校

春日部高校、川越高校、熊谷高校、進修館高校、
秩父高校、寄居城北高校、蓮田松韻高校、本庄高校、
川島ひばりが丘特別支援学校、上尾かしの木特別支援学校



【春日部高校 音楽ホール】

※詳しくはホームページをご覧ください。

埼玉県 県立学校学習・文化施設地域開放事業

検索



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月21日現在開放していません。

【問合せ】生涯学習推進課 生涯学習・社会教育担当(電話:048-830-6920)

県立学校等公開講座～県民の多様な学習機会を提供するために～

県教育委員会では、県民の方々に多様な学習機会を提供するため、夏季や冬季の長期休業中に、学校の特色や教員の特技を生かした「県立学校等公開講座」の実施を推進しています。

受講者からは、「これまでにない体験ができ、楽しかった」という感想が挙がり、実施校からは、「地域に開かれた学校づくりに役立った」という感想が多く寄せられるなど、毎年好評をいただいています。

ぜひ各学校の特色などを生かした公開講座の実施を御検討ください。

【講座例】ものづくり教室、科学教室、外国語講座等

【HP】 [県立学校等公開講座](#) 検索

【問合せ】生涯学習推進課 生涯学習・社会教育担当(電話:048-830-6920)



『迎春「ミニ門松をつくろう!」講座の様子』

☆県教委だより(No.717号)は、令和2年(2020年)7月21日に発行を予定しています。

発行●埼玉県教育委員会 編集責任者●教育総務部総務課長 栗原 正則 TEL●048(830)6714

☆「県教委だより」バックナンバーはこちらから

